



まちづくり検討会議

ニュースレター vol.8

令和6年
12月

～ガイドブック・マップの試作品最終修正について～

第8回目のまちづくり検討会議では、前回の振り返りをした後、マップビジュアル班A・B、歴史探索班より、各班内の現在の進捗状況について発表・共有しました。

その後、各班の最終のすり合わせを行い、地域の方からアドバイスをもらいながら試作品の修正について話し合いました。

～各班から進捗状況について報告（12月15日までの進捗状況）～

【マップビジュアル班A】

マップの裏面に歴史スポット30ヶ所の説明を入れる。
写真も追加予定。点線の箇所は所要時間を入れる予定。

【マップビジュアル班B】

タイトルは「ふくいっ歩」で決定！
福井地区の区域をピンク色で囲っているが、少しごちゃごちゃしているため、囲むのか地域の人と相談したい。



進捗状況について発表

◆第8回会議概要

日時 2024.12.15（日）14:00～16:00

参加者数 学生 11名
地域の方 8名

プログラム

- 1 前回の振り返り
- 2 各班の現況報告
- 3 グループワーク
(ガイドブック・マップ試作品確認・協議)
- 4 各チームの発表
- 5 次回の調整・今後の日程決め
- 6 閉会

【歴史探索班】

ガイドブックの文字の大きさを統一した。
写真を各資料館で借りて挿入した。
表紙と地図のページを追加した。
今後行事一覧とバス停などのアクセスが分かるページを追加予定。



～班ごとに分かれて試作品の修正について協議～

マップビジュアル班 A・B

【ルート・福井地区の境界線について】

- ・福井地区の境界線は削除する
- ・川とルートの色がかぶってしまい分かりづらくなるため、水色のルートの色を紺色に変更する。ルートは実線で記載

【文字の表記】

- ・マップに 30ヶ所の歴史スポットの名前を入れる
- ・アメニティスポットの文字を小さくし、歴史スポットの文字を大きくする。
- ・各ルートのアルファベットをもう少し大きく記載する

【その他】

- ・表面のアメニティスポットの紹介文を削り、福井の俯瞰図を入れる
- ・情報量が多くなってしまうのは課題
- ・タイトルの注意書き「※福井周辺地区を含む」をもう少し大きく記載
- ・ガイドブックの No とリンクする A・⑪、A・⑫とか裏面に記載する



試作品のマップ



試作品のガイドブック

歴史探索班

- ・ガイドブックに入れる地図は名前も記載する
- ・17番の「みてくら神社」の読み方を「てくら神社」に変更する
- ・馬塚の記載について、29番（郡兵太夫塚）と30番（下井愛宕神社）確認
- ・歴史スポットの名称一覧をデータでマップビジュアル班 B に渡す

✳立命館大学 稲葉先生からの講評

福井地区のまちづくり検討会議を参観し、そこがまさに「特別な学びの場」であると強く感じました。まず、参加されている住民の皆さんが、地域の歴史に高いプライドを持ち、その思いを地域全体に広げようとしている姿が印象的でした。また、この活動は、住民、大学生、市役所のコラボレーションによって進められており、その一体感に感銘を受けました。さらに、検討会議は、次世代を担う人材を育てる場としても大きな役割を果たしていると感じます。大学生が地域の方々の思いに応えようと必死にアイデアを出し合う姿は、とても印象的でした。このような実践的な学びは、彼らが社会に出てからも必ず役立ちます。まちづくり検討会議は、世界的に見ても貴重な学びの場だと思います。この活動が今後も継続し、さらに発展して行くことを期待しています。



参加者の声

全体会議で、マップA班B班が共に地域の方々と意見交換を進めることができ、より福井の魅力伝えるためのマップ製作になっていると感じた。完成に近づいているが、最後まで拘りながらマップ製作に取り掛かりたい。

立命館大学 藤尾さん

半年前から進んでいたガイドブックの作成が終盤になり、完成形に近づいてきたのが嬉しいです。マップもガイドブックもまだ微調整が必要な部分はありますが、形になってきたことを考えると今までの活動が実になっているのだと思います。1年を通して福井地区について触れることができ、学生生活の中でも貴重な経験の1つだと改めて感じました。

立命館大学 奥道さん

今回、活動に参加した感想をお聞かせください！